

於 二宮町教育委員会事務局

平成23年10月28日

二宮町教育委員会会議録

(定例会)・臨時会)

二宮町教育委員会

1. 開会時間 午前 午後 10時 00分

2. 閉会時間 午前 午後 12時 10分

3. 委員長名 井 出 真理子

4. 署名委員

5. 出席委員

議席番号	出欠席	氏名
1	○	井 出 真理子
2	○	飯 塚 富 美
3	○	武 井 健 一
4	○	小 林 德 博
5	○	内 海 博 治

6. 出席者氏名 教育次長 長尾秀美
 教育総務課長 松本幸生
 生涯学習課長 茅沼義文
 教育総務課指導班主幹 和田智司
 教育総務課教育総務班副主幹 二宮雅巳
 教育総務課教育総務班副主幹 三浦牧子

7. 傍聴者 1名

8. 調製者 教育総務課教育総務班副主幹 三浦牧子

平成 23 年度 10 月教育委員会定例会会議録

日時：平成 23 年 10 月 28 日（金）

午前 10 時 00 分より

場所：二宮町町民センター2A クラブ室

— 開会宣言 —

（委員長）平成 23 年度 10 月定例教育委員会議を開催します。

— 署名委員の指名 —

武井委員を指名する。

— 教育長事務報告 —

（教育長）10 月事務報告を行う。

（教育次長）政策会議報告を行う。

（各課長）各課の事業報告・事業予定について説明する。

- （武井委員）若者との町長ふれあいトークについて、どんな内容でしたか。10 年、15 年前の子ども達です。質問等ありましたか。
- （教育長）参加者は 10 人程度で、年齢は 22 歳くらいまででした。高校生が多かったです。二宮の駅にはファーストフードのお店がないので作ってほしいとか、駅が狭いとか、吾妻山は観光料を取ったらどうか等です。
- （武井委員）内容について、どこかで見ることができますか。
- （教育次長）インターネットで公開します。
- （武井委員）最近海外で低所得者の怒りの動きがありますが、日本には全くありません。元気がないと思います。教育委員会としての関わりを、問題がないことがいいことだという進め方を改めないといけないのではないかと感じます。原発の関係では風評被害を止める方向で動いてほしいと話していますが、親が牛乳を飲みたくないと言ったら、飲まなくてよいと認めることは仕方がない面もありますが、風評被害を後押ししていないか、地元の経済にブレーキかけていないかとか気になります。アンケートを取ると、商店街がさびしいとかファーストフード店がないなどの不満の意見が出てきて、逆のことを言っています。個人の自由をあまり認めるのはどうかと思います。
- （委員長）武井委員の言われたことに関することですが、町全体のことについてふれあいトークで町長がおっしゃっていて、思い出しましたが、二宮高校生が駅前の清掃を何年前かにやっていました。新聞にも取り上げられましたが、先ほどのファーストフード店の意見が出たことを聞くと、若い人の意識が変わってしまったのかなと思いました。二宮中学校のサッカー部はご

み拾いをしています。何か励ますようなことをやったらどうでしょうか。表彰などは大げさになってしまいますので、なにか認めてあげられることはないかなと思いました。

- （教育総務課長）以前二宮高校生の清掃の話は、広報紙に写真入で取り上げました。また、二宮中学校のサッカー部は中地区大会で優勝しましたので、サッカー部の活動として紹介しました。
- （委員長）広報紙は結構見られていますので掲載するとよいと思います。
- （武井委員）役場の方で、毎朝ごみ拾いをしている方がいます。よくやられていると思います。他にもいらっしゃいますね。
- （教育長）朝登校のお手伝いを、アクティブクラブの方にもやっていただいています。一般の方でも二宮小の通学路の人道橋で登下校時に交通整理をずっとしていただいている方もいます。機会があれば広報等で紹介しています。
- （教育次長）美化活動については、町の担当部署でも表彰があります。自主的に清掃活動をされている方の中には、紹介をお断りされる方がいますが、何らかの形で取り上げることは大切です。
- （武井委員）登下校に通学路の人道橋で立っていただいている方の話については、美談で終わらせたくないと思います。子どもの安全のために歩道橋等を整備することは、大人がやる仕事です。ふれあいトークで出された町民の意見を知っておくことは、大切なことだと思います。
- （小林委員）若者との町長ふれあいトークでシニアの話が出ていましたが、二宮町は、子ども会の活動があり、中学生の恵友会の活動があり、卒業した子どものシニアの活動へと流れをもっていて、このシステムがあるのは二宮だけで他の地域にはありません。シニアが活躍する場は、子どもたちのかかわりの中に作っていく必要があります。ボランティアとしてキャンプに参加するなど、彼らが活躍する場は育ちの課程だと思います。周りの大人たちが青少年を育てる場をたくさん与えてあげることが大切だと感じました。また放射能に対しては、教育委員会として弁当持参のこと等1つの基準を出されていますか。
- （教育総務課長）給食の関係については、保護者から放射能汚染が心配で牛乳を飲ませたくないという事例がありました。牛乳については、アレルギーのため飲めない児童への対応もありますので、同様の扱いを認めています。もし、牛乳だけではなく全ての食材が心配だから給食をやめたいと言われたら、議論した中で認めていこうということで学校へ周知しています。
- （小林委員）教育委員会として、放射線の測定等については、食材は問題ないとはっきり言ってよいと思います。
- （教育次長）議会でも議論になりました。市場に出回っているものは安全と言っています。給食費は個人の負担もあるため、希望があれば対応するということです。
- （武井委員）子どもが牛乳を飲みたいと言っても飲ませないのは親の権利かもしれませんが、飲ませないという方向になっていってしまいます。牛乳の流通に関わることでもあるため、公的機関ができるだけそのような動きは止めないといけないのではないのでしょうか。運用の中で1つ認めるとどんどん風評被害につながって止めることができなくなるのではないかと思います。もともと自然界にあるものという認識をもってもらい、測定することは大切ですが、あまり振り回されないほうがよいと思います。
- （教育長）教育委員会としては、国で安全だと認めていることは信じてやっています。親の希

望はある程度認めていく方針です。

- （小林委員）学校現場では非常に混乱しますので、教育委員会でしっかりこれだということを示していただきたいと思います。
- （生涯学習課長）小学生が子ども会、中学生は恵友会、卒業するとシニアの3段階あり、シニアについては、子ども会、恵友会の世話をよくみてくれています。ドッチボールの審判等やったり、兄姉の役割を担っています。キャンプでも各班のリーダーとして活動しています。日常的には清掃やペットボトルのキャップ集めなどの活動もしています。シニアの上には青少年指導員がいて、各地区から1人ずつ選任され、町が委嘱していますが、このようなしくみはよいと考えています。
- （委員長）町のアンケート（町民満足度調査）でも図書館やラディアンの満足度が高いです。音楽祭も会場がほとんど埋まっていました。民俗芸能のつどいでも同様で、二宮は文化的に盛んなところと感じました。また、生涯学習班の予定にあります、子育てゼミナールの講座はよい取り組みを企画されていて、よいことは是非続けてほしいと思います。街頭キャンペーンとは具体的に何をするのでしょうか。
- （生涯学習課長）街頭キャンペーンについて、今回の場所はラディアンで、青少年の啓発・PRのためティッシュを配布します。
- （教育長）環境浄化委員の方たちが一緒に行います。

— 付議事項 —

議案第10号 平成24年度二宮町公立学校教職員人事異動方針（案）について

（教育次長）議案第10号 平成24年度二宮町公立学校教職員人事異動方針（案）について説明。

- （小林委員）教職員の構成について、現実的なところ、年齢的な構成はどのようになっていますか。
- （教育長）二宮は55歳以上の先生が多いです。40歳代の先生が少なく、若い年齢層という順になっています。男女については小学校では女性が7割、中学校では6割が男性です。
- （小林委員）中核の40歳代の先生が少なくなってきたのは課題で、どうかカバーするか、若手の先生が増えてきているのでどんどん活用して、適材適所の構成をしてほしいと思います。
- （教育次長）中地区でも年齢構成のことは問題になっていて、どうしていくか、若手を登用するとか、再任用の活用など、今後の課題です。
- （教育長）異動方針の（2）について、配置転換に関しては二宮と大磯で協定を結びました。小学校はほぼ目標に達していて、中学校は教科のこともありますので、平塚に応援していただいて進めています。（3）の全体的視野に立ってというのは、5～6年先を見通し、計画を立て幹部職員の配置を考えています。
- （小林委員）例えば、学校ごとに顔があっていいと思います。先生の中には、いろいろ知っていて地域の人ともうまくやっているような先生もいたり、配置転換の年数が決まってもそういう先生は年数にあまりとらわれず考えていただけたらと思います。
- （教育長）そのような考え方もあります。教員の配置転換の年数は中地区や、県の方針で行っています。特色ある学校づくりの観点からも配慮したいと思います。

(委員長) 各委員にこの件について諮る。
委員全員賛成により、議案は承認される。

議案第 11 号 専決処分の承認を求めることについて (平成 23 年度二宮町一般会計補正予算 (第 3 号))

(教育次長) 議案第 11 号 専決処分の承認を求めることについて (平成 23 年度二宮町一般会計補正予算 (第 3 号)) 説明。

(教育総務課長) 小学校費の学校管理費及び中学校費の学校管理費について説明。

(生涯学習課長) 社会教育費の文化財保護費について説明。

○ (小林委員) 台風の被害について、これだけの補正の費用で済んだのは、教育委員会事務局がいろいろ動いて処理をしてくれたからだと思います。ありがとうございます。

○ (委員長) 各委員にこの件について諮る。
委員全員賛成により、議案は承認される。

— 報告・協議事項 —

(1) 平成 24 年度予算編成方針について

(教育次長) 平成 24 年度予算編成方針について説明。

- (小林委員) 予算編成方針が町としての施策、重点プランで動いていることがわかりますが、学校の要望がどのように取り扱われていくのですか。
- (教育総務課長) 予算時期に合わせて学校からの要望書を提出してもらっています。現地確認など調査をして、要望に優先順位をつけています。
- (小林委員) 予算で一番大きな、主になることは何ですか。
- (教育総務課長) 大きなものはハード面になりますが、施設関係では二宮中学校の体育館の改修工事や二宮小学校の大規模改修を予定しています。
- (小林委員) ソフト面はありますか。
- (教育総務課長) 今までより大きく変わることはありませんが支援教育補助員等があります。
- (小林委員) 予算についての減額率は、何パーセントになりますか。
- (教育次長) 前年度比 5 パーセント以上減となります。24 年度は今まで以上に厳しくなると思います。

(2) その他について

(教育総務課副主幹) 平成 23 年度二宮町教育委員会点検・評価報告書 (平成 22 年度事業分) (案) について説明。

- （委員長）報告書は、教育委員会の活動報告となっていますが、点検・評価（２）は、事務局事業のことについてですね。
- （教育長）事務局全部は行政評価で、ここは部分的な評価としています。
- （教育総務課長）基本的には教育委員についての評価ですが、ここでは事務局の代表的な事業を取り上げて評価しているということをご理解いただきたいと思います。
- （武井委員）教育委員会の活動状況について見て思い出しましたが、以前暑さ対策について発言した内容について、自然の力を借りて涼しくする仕方や科学的なこと、例えば天窓の開け閉めによって温度が違うことなど、生活の知恵を学校の中で生かして、昔の知恵に学ぶことによってより涼しく過ごせるプロジェクトを立ち上げたらよいのではと提案しました。先生と子どもたちが一緒になって、環境、エコと結び付ける具体例を示した活動ができないかと。誰かが音頭を取らないと始まらないと思います。
- （教育長）議会でも回答しましたが現在は扇風機で対応をしたいことを、その説明の中で理解してもらいました。各学校へお願いし、朝顔など日よけ作りや、暑い教室は風通しのよい教室へ移動するというような工夫をすること、窓を開けて空気の流れをつくる事等はなしました。
- （教育総務課指導班主幹）環境については特定の学年に限らず、総合学習の時間で取り組みをしています。
- （教育総務課長）今年の夏に節電を行う状況がありました。学校へ暑さについては取り組みについても通知をしました。扇風機使用についても、高窓の開放などお願いしたり具体的な話しています。国では15%の節電目標でしたが、各校で20数%節電できました。
- （武井委員）来年はエコ快適発見コンテスト等のイベントを開催したり、どれだけ涼しくできたか、地球に優しいとか、経済的効果はどのくらいあったなど、イベントを通して新しい発見につなげることができると思います。昔のことを再発見することは、トータルで生きる力や地元の再発見になります。このような取り組みはできないかというのが私の質問です。
- （教育総務課長）学校の取り組みについてはどこまでできるかは、今すぐは申し上げられませんが、今年は節電を通してどんな工夫ができるかということを考えて、その結果具体的な効果になっています。
- （教育次長）環境問題は町にも施策があり、学校の部分ではどうして行くのか、体系的なことを作り上げるのか、それとも学校だけの取り組みとしていくのかなどやり方はあります。今は現状の取り組みの中で工夫していくことになっていて、今後町の方針の中で考えていくものかと思います。
- （武井委員）例えばエアコンは、自分は涼しくても外は暑くなる、自分を守ることで人を守らなくなっています。私は、皆を守ることを考えることを言っていて、学校の先生は既に学校現場でいろいろな実験をしたりして知っています。どうやったら体感温度が下がるかなどを知っていると思います。雲のでき方など科学的な話や歴史的な話について、教えるだけでなく子ども達が先生とともに考えることが大切です。子どもはそれを見て大人の知恵を知っていきます。アイデアを作る仕組みを教育委員会が作っていくこと、震災を機に、立ち上がる、見直すきっかけをもらったとも考えられるし、いろんなことができるのではないのでしょうか。
- （井出委員）教育委員会の事業について、22年度にこういう意見を出して決めたことは、23年度の震災後対応しやすかったという結果があり、このことを反映させるには、どこに評価を

入れ込むのかなと思います。

- （教育長）やってきたことの評価については、例えば暑さ対策についてなら、二宮町はエアコンではなく扇風機を設置していくことに決めて 23 年度取り組みました。その他いろいろ学校現場でも工夫して取り組んでやってきたことや、来年度は引続き計画的な扇風機を設置をしていくということを出していくことはできます。学校は環境ばかりをしていただけませんが、検討したことを実行していくことを呼びかけるのは教育委員会の仕事だと思います。やっていきたいと思います。
- （小林委員）位置づけられてしまうと、これをやらねばならないということになり、学校現場はやりにくくなることもあります。実際は武井委員が言われたことも授業などで試行錯誤しながら取り組んでいることもあります。家庭の中でできることも踏まえながら、二宮の特色を生かし、こういうことをやっていこうという呼びかけは大切だと思います。来年度に向けては、例えば節電対策の結果を踏まえて、来年はこうしていこうなど話していくことはよいのではないのでしょうか。

— 次回教育委員会予定 —

（教育総務課副主幹）次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

— 休憩 —

傍聴者退席

— 付議事項 —

議案第 8 号 平成 23 年度二宮町教育委員会表彰被表彰者の選考について

議案第 9 号 平成 23 年度二宮町教育長表彰被表彰者の選考について

議案第 8、9 号議案については秘密会のため非公開。

— 閉会宣言 —

（委員長）平成 23 年度 10 月定例教育委員会議を終了いたします。

午後 12 時 10 分終了